

SDGs 宣言書

当社はSDGsの達成を通じて、地域の暮らしをより魅力的にし、次世代に継承しようとする取組みに貢献してまいります。

合同会社 HARUKA

代表社員 鏑木 智

西暦2024年1月

当社の重点目標

誰一人取り残さない社会の実現への貢献

当社は、伊丹市で児童発達支援 放課後等デイサービス事業を行っております。未就学の方から高校生の方まで、発達に障がいのある(あると思われる)お子さまを対象にABA(応用行動分析)を活用した早期療育を実践し、誰一人取り残さない社会の実現に貢献して参ります。



性別に関わらず多様な人材がいきいきと働ける職場環境の整備

性別に関わらず多様な人材がいきいきと働くことができるように、土日祝日の完全休日化、残業の抑制、有給休暇の取得推進等の取組みにより、ワークライフバランスを実現していきます。また、各種研修への積極的な参加やABA(応用行動分析)セラピスト資格取得支援により従業員のモチベーション向上に取り組んで参ります。



パートナーシップによる住み続けられるまちづくりへの貢献

地域の発達に障がいのある(あると思われる)お子さまをはじめ、保護者の方に対して「ペアレント・トレーニング」の実施等、学校、行政、相談支援事業所等と連携して地域ぐるみでの支援を行い、誰一人取り残さない住み続けられるまちづくりに貢献して参ります。



尼崎信用金庫は上記企業のSDGsへの取組みを評価するとともに、その活動を支援していきます。
(評価にあたっては経済産業省の支援モデルをベースに、東京海上日動火災保険株式会社の協力を得ています。)